

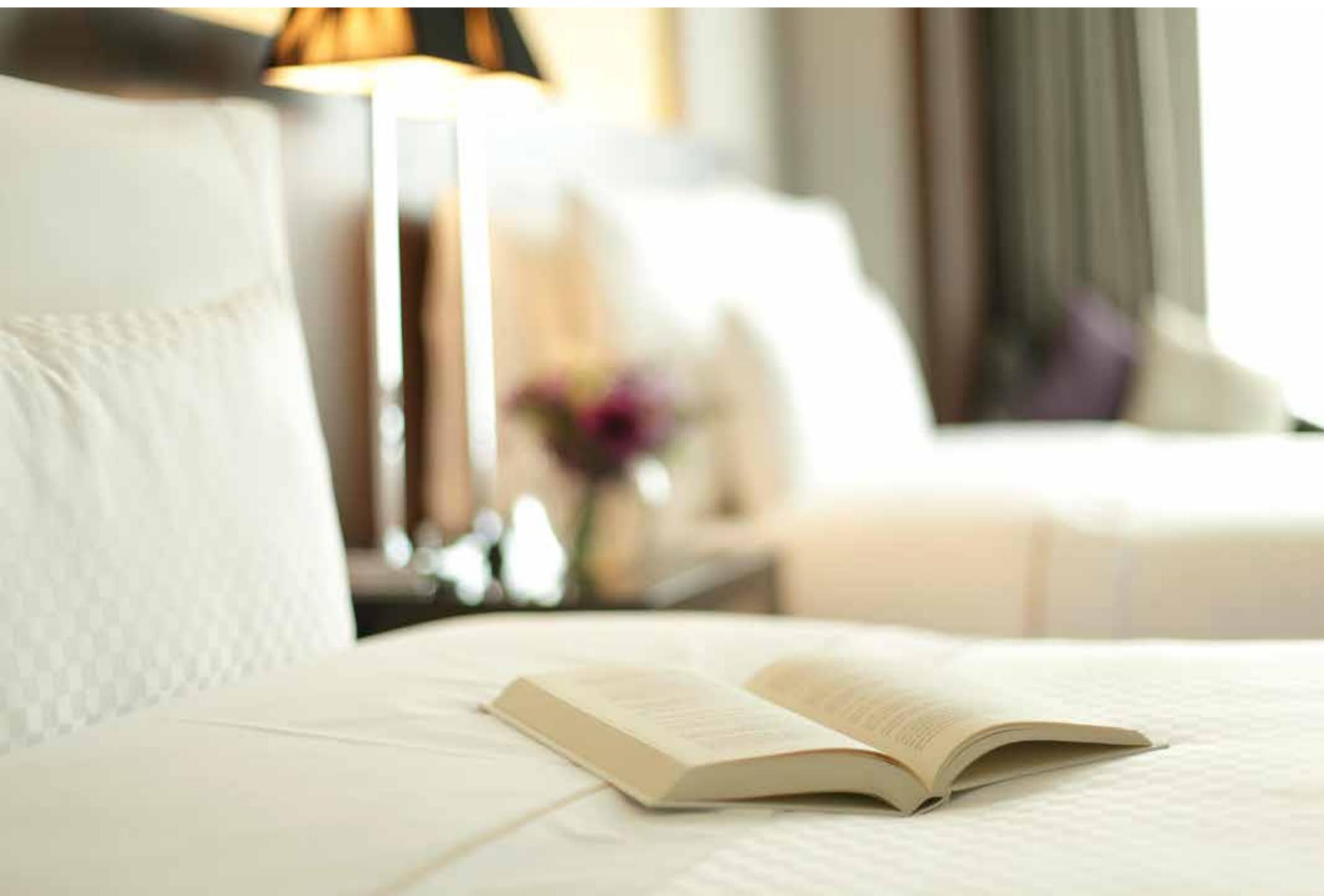
THE WESTIN

SENDAI

12ヶ月のブログリレー

わたしの仙台ストーリー

7月の旅人





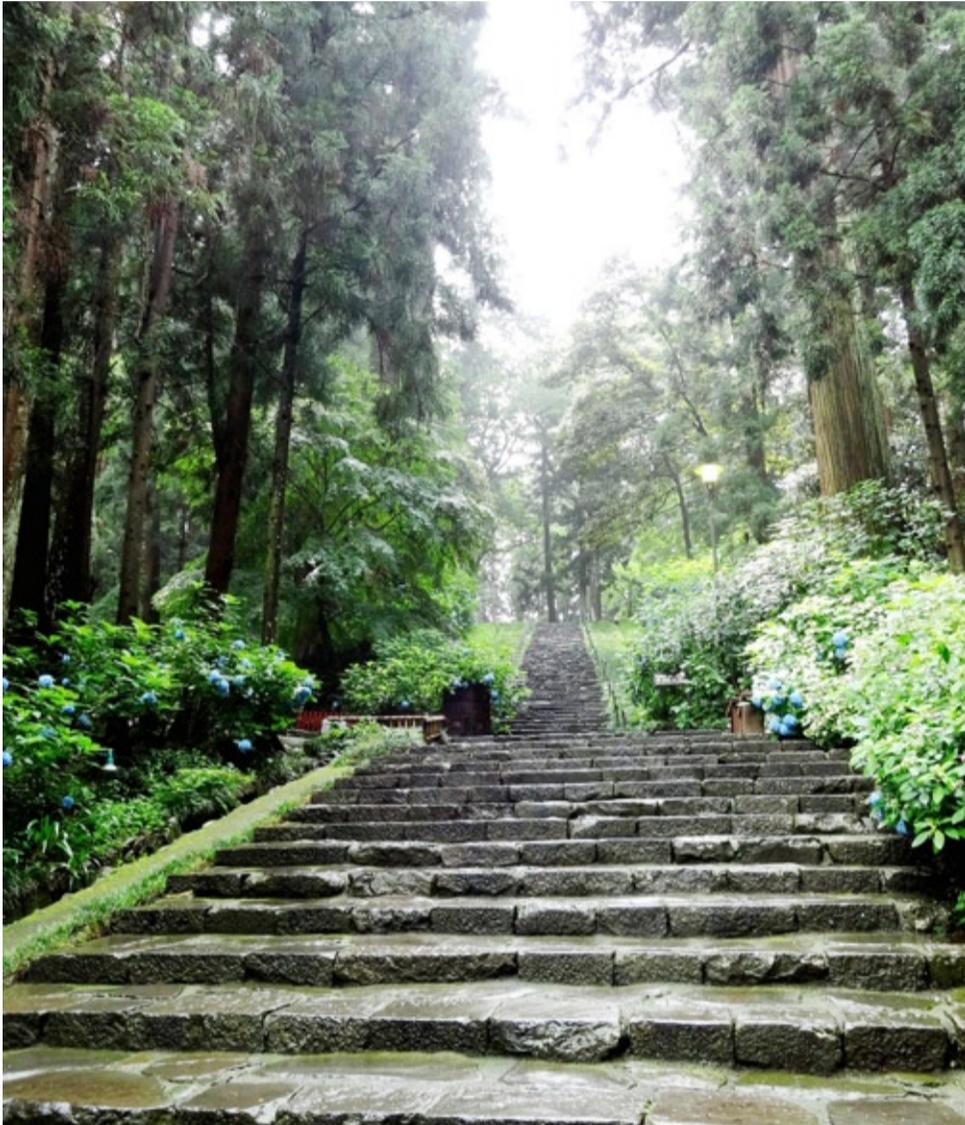
- ・この地図は Google マップサービスを利用しています。
- ・地図内のルートは旅人の訪問地、訪問順に基づき、Google マップの仕様に合わせておすすめのルートを作成したもので、旅人が実際に使用したルートと異なる場合があります。
- ・当データからリンクしている Google マップページについては、Google の責任の下、管理されているものであり、Google に起因する不具合等について当ホテルはいかなる責任も負いません。



7月の旅人

小宮山 恭子 様 [宮城県・女性]

伊達藩の城下町で、お祭りやイベントの多い仙台を趣味の水彩スケッチで描いてみたい。



7月のブログを担当いたします、小宮山と申します。私達夫婦は震災後に東京から仙台に転勤で移ってきたのですが、今ではすっかりこの街が大好きになりました。夫は写真、私は水彩スケッチが趣味なので、休日には季節の表情を求めて散策を楽しんでいます。

夏の仙台は祭やイベントが目白押しで、とても賑やかです。8月の七夕まつり、9月の定禅寺ストリートジャズフェスティバルは全国的に有名ですが、7月も仙台すずめ踊りという夏祭りがあるのをご存知でしょうか？

すずめ踊りはその昔、仙台城落成の宴席で石工（石垣造りの職人）たちが伊達政宗公の御前で披露した踊りだと伝えられています。

色鮮やかな半被、手には扇子、小雀が跳ねるようにひらりひらりと舞う踊りです。仙台では、5月の青葉まつりと7月の夏まつり仙台すずめ踊りに多くの祭連（まづら・踊りのグループ）が華やかな舞を披露します。

今回は、「わたしの仙台ストーリー・7月の旅人」に選んでいただいた機会に、夏まつり仙台すずめ踊り（7月28日開催）と城下町らしい風情の残る街の魅力をご紹介します。

祭の前日は政宗公ゆかりの場所を尋ねてみよう、伊達家の霊廟・瑞鳳殿に行ってみました。夏の瑞鳳殿は、経ヶ峯のひんやり

とした空気に包まれて街中より涼しく感じます。今年の東北地方は7月下旬になっても梅雨が明けず、参道の石段や杉木立もしっとりと濡れていました。参道沿いには瑞々しい紫陽花が。やはり花の色があると一層風情を感じますね。

瑞鳳殿の拝殿にはちょうど七夕飾りが飾られていました。飾りにはどんな意味があるか、英語で説明されています。もうすぐ始まる「仙台七夕まつり」の予習にもなりそうですね。短冊に願いを書くコーナーも設けられていました。

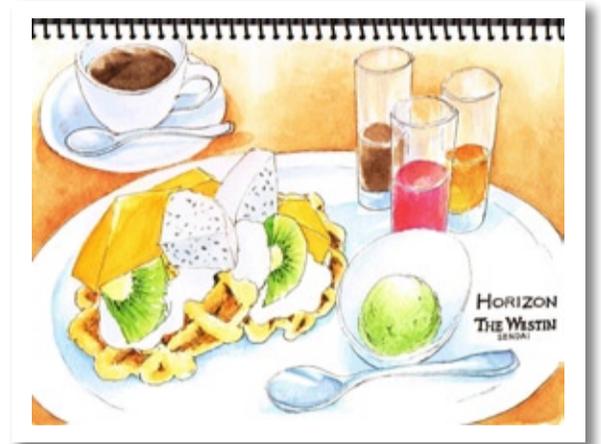
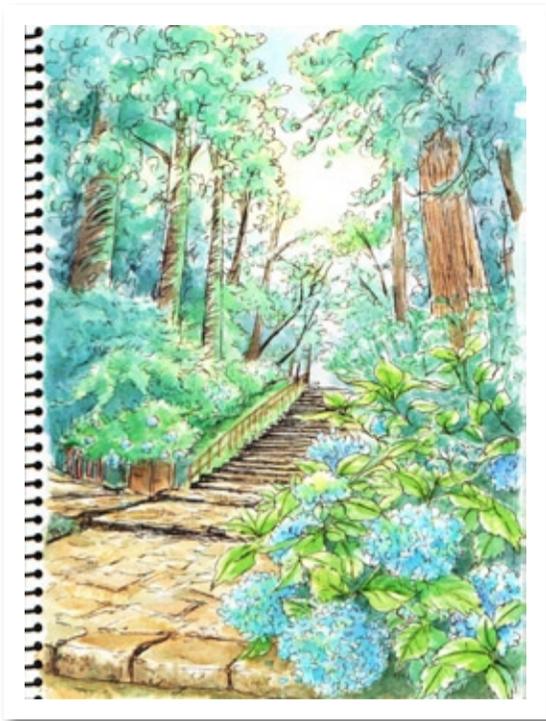
厳かな気持ちで本殿にお参りします。「政宗様、どうか東北の被災地が一日も早く復興しますように」

本殿の彫刻をじっくり拝見すると、極楽浄土を描いた精巧な装飾の美しさに驚かされます。週末は、瑞鳳殿のボランティアガイドの方が希望者にガイドをして下さるそうで、この日も紫色の法被を着たガイドの方が熱心に解説されていました。

ふと空を見上げると、遠くの方からゴロゴロ…と雷鳴が聞こえて、今にも雨が降りそうな雲行きになってきました。最後に政宗公にもう一度参拝。「どうか明日のすずめ踊りは晴れますように！」とお願いをして、瑞鳳殿を後にしました。

7月

12ヶ月のブログリレー
わたしの仙台ストーリー



後ほど、写真とラフスケッチを元に、この日一番いいなあと感じた景色を水彩スケッチに描いてみました。紫陽花の花に間に合ってた良かったです！

では、そろそろウェスティンホテル仙台に向かいましょう。駅前の愛宕上杉通りのガス灯を見上げると、小さな政宗公の騎馬像を発見！こんな所からも仙台の街を見守っているんですね。

ちょうどチェックインした後、ぽつぽつと雨が降り出したので、午後はホテルでゆっくり過ごすことにしました。

まず26階のラウンジ「ホライゾン」でティータイム。オーダーした「ベルギーワッフル&フルーツ」は、フルーツやクリームがたっぷり、夫と二人でシェアしてちょうど良いほどの量で美味しかったです。盛り付けも美しかったので、これもスケッチ。

同じ26階にある「せんだいスーベニア」というショップも覗いてみました。こちらは、仙台独自の伝統工芸品やアート作品のオリジナル商品を揃えてあります。

仙台在住のイラストレーター・古山拓氏が仙台の街並みを描いたポストカードも販売されています。古山氏は、ウェスティンホテル仙台を含む、仙台トラストシティの季刊誌“The Trust City Times”の表紙を、さらりとしたタッチの水彩イラストで飾っています。私は“The Trust City Times”の表紙絵をいつも楽しみにしている、隠れたファンの一人なのです。いつかこんな素敵な絵を描いてみたいなあ。

ひと通り見て、仙台平で織った名刺入れを今回のホテル滞在の記念に購入することにしました。絹の帯のような手触りで、和風で粋なデザインが気に入りました。

夜は「シンフォニー」でのディナーを堪能。どのお料理も丸い皿のキャンバスに描いた絵画のようです。あっという間に時間が過ぎていきました。

7月

12ヶ月のブログリレー
わたしの仙台ストーリー



右上の光が球場です

雨交じりの夜景でしたが、窓の向こうに煌々とライトが光る場所が。東北楽天ゴールデンイーグルスのクリネックス・スタジアムが放つナイターの光でした。7月末現在、楽天はなんとパ・リーグ首位なのです！今年こそ、ひよっとして…？そう思うと、球場のライトも頼もしく感じられたのでした。

翌朝は、リッチな朝食を満喫させていただきました。昨夜降った雨も止み、所々で青空が見えてきました。良かった！すずめ踊りのお祭りはなんとか晴れそうです。

しっかり腹ごしらえをした後、少し早めにチェックアウトしまし

た。実は、夫は会社の仲間の皆さんと祭連を作り、すずめ踊りに出ることになっているのです。

といっても、今回は撮影担当なのですけれど。半被を羽織り、カメラ片手に祭りのシーンを撮りまくろうと、勇んで出ていきました。頑張っ、いい写真をよろしくね！

ゆったりとしたホテルステイで身も心もリフレッシュした後は、お祭気分には沸き立つ街に繰り出します。この日開かれているもう一つのお祭り、[三瀧山不動尊](#)の夏祭りです。仙台駅前から続くアーケードに突如現れる、三瀧山不動院。



ここは開運、家内安全、商売繁盛を祈願する寺院ですが、特に開運を呼ぶ福の神、仙台四郎を祀った寺院として長く地元で親しまれています。

仙台四郎は明治時代に実在した人物ですが、四郎が立ち寄った店は不思議と繁盛したことから、没後も福の神として大切に祀られているのです。

山車と神輿が登場すると、賑やかなアーケードがさらに盛り上がります。

山車にはちょっとリアルな仙台四郎が乗っています。初めて見たので正直びっくりしました。沿道の人にはお祭りの木札が配られていたので頂戴しました。仙台四郎のようにいつも笑顔で、この木札をお守りに持てば、開運も叶うことでしょう。

商店街にはいろいろなお店が揃っていますが、お土産でおススメなのは和雑貨のお店「しまぬき」。それから「[東北ろっけんパーク](#)」は復興物産市や復興支援グッズを販売するイベントが週替わりに催されているので、要チェックです！

7月

12ヶ月のブログリレー
わたしの仙台ストーリー



さて、仙台駅東口に回ってみると、仙台すずめ踊りの夏まつりが最高潮に達していました。若い祭連はキレイのいい踊りで格好よく、保育園のちびっ子祭連はびよびよと可愛く、若い連中に負けないよ、と張り切る渋いベテランの方々、そして後ろに続く粋なお囃子方。

いよいよ夫のお仲間達の祭連が登場しました！祭連の名前は「杜の風睦（もりのかぜ・むつみ）」。地域の活性化に貢献しつつ、仲睦まじく楽しもう、と結成されました。実は今年の青葉まつりでデビューしたばかりの新人祭連なのです。

すずめ踊りもお囃子も初めて、という人がほとんどでしたが、

先輩の方々に教えていただき、こつこつと練習を重ねてきました。祭を通して地元の祭り好きのお仲間との親交が増えたり、子供さんと一緒に参加して家族の絆を深めたり、大きな収穫がありました。

夫曰く、「祭りは見るより出る方が楽しいよ！」

確かにそうですね。皆さんの笑顔を見れば分かります。

途中、にわか雨に降られてしまいましたが、気合いのこもった舞いは夕方まで続きました。

東北では各地で続々と夏祭りが開かれます。祭を生で見たら、きっとそのエネルギーに圧倒されて虜になってしまうことでしょう。

皆様もぜひ一度東北に、あすびさございん！（仙台弁で「遊びにいらっしゃい」）



仙台から30分 夜明け前の松島です